

今回の参加対象は女性です。よろしく！

原発いらない 女たちアクション第三弾

8・29

女たちの一票一揆

女が変わる！政治もくらしも原発も
女が変わる！いま国会を

7.29夜 国会正門前にあふれ出す怒り

■日時 8月29日(水)

■場所 衆議院・第一議員会館 多目的ホール

14時 経産省前テントひろば 集会とかんしょおどり

15時 衆議院第一議員会館 多目的ホール(18時迄)

■内容

○オープニング ○発言

- ・武藤類子(原発いらない福島の人)
「女たちの月例集会に期待すること」
- ・泉かおり(原発いらない北海道の人たち)
「なぜいま、女たちの一票一揆か 問題提起」
- ・谷田部裕子(原発いらない茨城の人たち)
「一票一揆・地方議会への取り組み 東海第二」
- ・東井怜(原発いらない“心は福島”の人)
「女たちはこうして変えてきた」
- ・佐藤幸子(原発いらない福島の人たち)
「福島からみえる国会 国会をかえなければ！」

○質疑

○国会議員(女性)からの発言 (確認まちを含む)

福島みずほさん(参・社民) 谷岡郁子さん(参・みどりの風) 三宅雪子さん(衆・生活が第一) 紙智子さん(参・共産) 大河原雅子さん(参・民主) 他

○これからの方針

※資料：国会議員への「原発」アンケート

原発いらない福島の人たち・原発いらない全国の女たち

連絡先：泉 (E-mail:kaoriizumi08@gmail.com tel:090-2695-1937)

○大飯原発再稼働NO！

○原発いらぬ女たちは

原発ゼロで闘う！

国政選挙が近づく中、政治を変え、暮らしを変え、原発を止めるために、今、私たちにできることは何なのか？
原発いらぬ全国の女たちよ、一緒に知恵を絞りましょう。

<発言者プロフィール>

■武藤類子

福島県三春町在住。版下職人、養護学校教員を経て2003年里山喫茶「燦」を開く。チェルノブイリ事故以来原発反対運動に携わり、2011年は「ヒロアクション福島原発40年」として活動を予定していた。福島第一原発事故発生以来、住民や避難者の人権と健康を守る活動に奔走している。福島第一原発告訴団団長。

■泉かおり

札幌市在住。元国連職員、アフリカの土地紛争、HIVエイズに関連した女性や障がい児を含む子どもたちの人権、財産権保護の問題に関わる。北欧とアフリカに長期滞在、勤務後、2009年に25年ぶりに帰国。福島第一原発事故後、脱原発運動に関わる。Shut泊代表。福島の子どもたちを守る会・北海道共同代表。

■谷田部裕子

福島県出身。茨城県東海第二原発から7キロメートル地点在住。
JCO臨界事故屋内退避体験を機に子どもと命の未来を守ることを人任せにしてきたと反省し、知ること伝えること行動することを始める。臨界事故被害者の会、核融合実験炉誘致反対運動、チェルノブイリ支援等。
3・11以降 南相馬支援、「原発いらぬ全国の女たち」呼びかけ人。

■東井怜

通信制高校講師の傍ら、埼玉で様々な市民運動を経験。チェルノブイリ事故後は反原発をメインに活動、90年以降、双葉郡内に事務所を構え福島原発の地元で脱原発を訴える。10年前に東海地震による浜岡原発震災を防ぐため静岡に転居。「東京電力と共に脱原発をめざす会」代表世話人。「原発震災を防ぐ全国署名連絡会」事務局長。

■佐藤幸子

福島市在住。川俣町で自然農による自給自足の生活を30年営み、自給自足を広げるために、研修生の受け入れを15年間行う。NPO法人「青いそら」の理事長として、老人と障がい者の福祉事業に関わる。福島第一原発事故後、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の設立に関わり、現在代表を務める。